

テーマ

情報活用能力を育むための基礎基本

習得させたい基本操作とは何か

学年（教科・領域・活動）

全年生（全教科・全領域・全活動）

情報活用能力

A1 記録と編集

写真や動画の撮影や音声の記録ができる

写真や映像、音声の加工編集ができる

A2 PC の操作

書き込み入力やローマ字入力ができる。

ファイルの管理ができる。

A3 ウェブの検索

キーワードで検索できる。

サイトの構造を理解して情報を見付けられる。

基本操作に関する指導内容チェック表

学年	基本的操作内容
1,2年	<ul style="list-style-type: none"> □情報機器の準備と片づけの仕方を身に付ける。 □情報機器の各部名称、起動・終了の方法を覚える。 □Googleのログイン、ログアウトを覚える。 □矢印キー・数字キー程度の操作に慣れる。 □クリック、ダブルクリック、ドラッグ、ドロップ、タップ、スワイプ、ピンチインピンチアウトを覚える。 □お絵描きソフト利用して絵を描く。 □タッチパネルでの文字入力に慣れる。 □作った作品の印刷をする。 □データの読み込みのやり方を覚える。 □タブレットPC内蔵カメラで写真を撮る。 □タブレットドリルに親しむ。 □学習支援アプリケーションを選択、操作する。 □デジタル教科書に慣れる。 □ファイルを開いたり保存したりする。 □単純検索をする。 □画像や動画を閲覧する。
3,4年	<ul style="list-style-type: none"> □キーボード入力（ローマ字）で文章を作成する（1分間10文字）。 □指定された場所へのデータの保存法を知る。 □タブレットPC内蔵カメラの操作に慣れる。 □インターネットで情報を収集する。 □文章や写真、絵のコピーや貼り付ける。 □学習内容をプレゼンテーションソフトでまとめる。 □絵と文を組み合わせた作品を作る。 □オフィス系アプリケーションを選択、操作する。 □デジタル教科書を用いて自分の考えをまとめる。 □ファイルの検索をする。
5,6年	<ul style="list-style-type: none"> □キーボード入力（ローマ字）で文章を作成する（1分間30文字）。 □プレゼンテーションソフトを使い資料を作成する。 □インターネットによる調べる学習を行う。 □各種メディアの特性を活用して互いの考えを伝え合う。 □あらゆるメディアから必要な情報を選択して問題解決に活用する。 □タブレットPC内蔵カメラで撮った写真を活用する。 □表計算ソフトの使い方を覚える。 □目的に応じてアプリケーションを選択、操作する。 □デジタル教科書を用いて自分と他者との考えを比較しながら思考力を高める。 □ファイルやフォルダの管理をする。



第2学年 生活科 A1 記録と編集の実践「写真の撮影」

2年生は生活科において、一人一つ野菜を育てた。野菜の成長を観察カードにまとめる際にタブレットPCで写真を撮った。写真はそのまま撮りだめ、振り返る際に活用した。

写真は全部で3回撮った。1回目は苗を植えた日、2回目はつぼみ・花が出てきたとき、3回目は実がなったときである。

1回目は、野菜の全体像を撮る児童が多かった。そのため、様々な角度で撮るよう声をかけた。するとアウトカメラ・インカメラを使い分け、葉の裏を撮影する児童が増えた。

2回目は、つぼみが出てきたため、自然とつぼみを大きく写している様子だった。「葉は前と比べてどうなっていますか」と発問すると、上から写して葉の量や大きさを写していた。

3回目は、実がなっていたため、実を大きく写したり、全体に実が何個なっているのか分かるように写していた。

第6学年 図画工作科 A1 記録と編集の実践「ポートフォリオの作成」

児童の活動の様子や完成した作品をタブレットPCで撮影したり紹介文を書いたりした。そして、それらのデータを活用してポートフォリオ（作品集）を作成した。

「夢の新製品」では、まず、あったらいいと思う新製品をワークシートを使って考えた。次に、身の回りの材料を生かして工夫して表した。そして、プレゼンテーションソフトでポスター広告を作成した。最後に、作品とポスター広告を一緒に展示した。

「作品集をつくる」ことをめあてにしたことで、活動の軌跡をふりかえり、作品への愛着を深めるきっかけになった。また、よりよい見せ方を考え意欲につながった。

写真とともに作品についてのコメントを入れることで、どんなイメージで作品をつくったのかや、工夫したところなど、その時の思いも残すことができた。



第3～4学年 常時活動 A2 PCの操作「タイピング」

本校は、第3学年から本格的にローマ字入力に取り組ませている。

まず、国語のローマ字の学習を3年生の1学期に行った。その後、タイピングソフトの練習の場を設定したり授業の中でタイピングする機会を取り入れたりと、様々な場面で児童がタイピングに取り組めるようになった。

このような活動を継続的に行うことにより、3年生の3学期には1分間で平均38文字打てるようになり、4年生の3学期には1分間で平均 文字打てるようになった。

タイピング能力が向上することにより、例えば、国語の書く学習でワープロソフトを活用して下書きを行ったり、ジャムボードを活用して付箋に意見を書いて整理して話し合いをまとめたりするなど、児童がタブレットPCを扱う機会も多くなってきた。

とにかく児童に操作させる！教えてできない児童も、実際に操作を繰り返せばできるようになる！

タブレットPC



図書館利活用



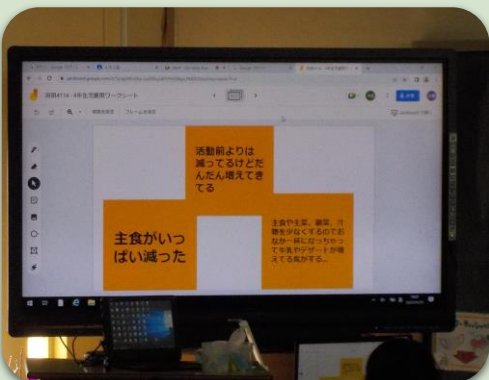
デジタル教科書



デジタル教材



グーグル



周辺機器

